

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和4年12月号



令和四年十二月六日発行
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区
醍醐東大路町二十二
電話 〇七五―五七一一〇〇〇二

戦争と芸術

今年も早、師走に入りました。

年初来、色々なことがありましたが、何と
いっても最も大きなことはロシアによるウク
ライナ侵攻ではないかと思えます。

世界中の国々がロシアに対し様々な形で制
裁を加えていることは当然のことと思えます。
そうした中で少し違和感を覚えるのは芸術活
動に関してロシア作品や芸術家に対するポイ
コットです。

私は二十五年前から寺院の文化活動として
オーケストラ活動を行っています。毎年一回
のペースでコンサートを開催してきました。
今年も去る十一月五日に開催をしたのですが、
当初よりロシアの作曲家シヨスタコーヴィチ
の通称「室内交響曲作品110」をプログラ
ムに加えていました。ところが二月にロシア
の侵攻が始まり、音楽界ではロシア作品の拒
否反応が一挙に広がりました。

シヨスタコーヴィチ(1906～1975)
は、旧ソ連時代の作曲家で、当時の作曲家は
共産主義への忠誠とそのプロパガンダに協力
しなければならず本来の芸術活動がしばしば
枉げられてきました。シヨスタコーヴィチは

当局の指導に従った作風を装いつつ端々にそ
の批判と風刺を込めた作曲活動を続けていま
した。

この「室内交響曲」は作曲者が共産党への
入党を強いられ自殺も考えるほど、追いつめ
られた時期に作曲され、5つの楽章からでき
ています。

1楽章は重く暗い作曲者の気持ちそのもの
を、2楽章は耐えられなくなった気持ちを一
気に爆発させるのですが、3楽章では人々の
日々の生活を行き成り戦火により打ち砕かれ
る正にウクライナの現況そのままの光景が描
かれています。4楽章は葬送と悲しみ、そし
て祈り、5楽章では回想と全てを失った無力
感で曲は閉じられます。

私たちは、この曲を通してこの戦争で犠牲
になられた全ての尊い命に祈りを捧げました。
ロシアの人々の中にもいろいろの考え方があ
ろうかと思いますが、この作曲家のように良
識を持ちながら、所謂独裁下にあるため声を
あげることの出来ない状況を理解せねばなり
ません。ましてや芸術作品を敬遠することは
あってはならないことだと強く感じました。

壁瀬 宥雅

今月の掲載内容

- ・ 戦争と芸術 1
- ・ 録事 2
- ・ 末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・ 本庁からのお知らせ 3
- ・ 醍醐寺からのお知らせ 3

令和五年二月二十三日 五大力尊仁王会当日日程案内

九時	五大力尊仁王会法要	金堂
	五大力尊御影守授与開始	金堂前
	柴燈護摩特別祈願開始	柴燈護摩道場
	奉納「餅上げ」	
十時	小学生の部	金堂前特設舞台
	五大力尊仁王会法要	金堂
十一時	奉納「餅上げ」	九十キロ
十二時三十分	女子の部	金堂前特設舞台
	奉納「餅上げ」	百五十キロ
十三時三十分	男子の部	金堂前特設舞台
	五大力尊仁王会法要	金堂
十四時三十分	柴燈護摩特別祈願終了	柴燈護摩道場
十六時三十分	五大力尊御影守授与終了	金堂前
十七時	※都合により時間を変更する場合がございます。	

五大力尊御影並びに各種御守のご案内

- 五大力尊御影 二千元
- 懐中守 千円
- 交通安全守(祈祷ステッカー付き) 千円
- 心願成就守 千円
- 輪宝守(キーホルダタイプ) 金色・銀色 各千円
- 輪宝守(ネックレスタイプ) 金色・銀色 各千円
- カンマン守(ネックレスタイプ) 銀色 千円

録事

▼度牒授与
本宗籍
五月十六日

修験籍
八月三十一日

▼僧階昇補
修験籍
九月五日

▼住職・主管者任命
九月一日

▼住職・主管者退任
十月十八日

▼責任役員任命
九月十四日

九月十五日	香川	法輪寺	岡崎	藤本	山村	山根	島根	和歌山(直)	島根	島根	備中
九月十八日	大分	明王寺	山村	山根	山根	山根	山根	宝乘院	松林寺	城光寺	豊福寺
九月二十六日	島根	松林寺	祝部美智子	高井	高井	高井	高井	土井	土井	土井	土井
十月二日	和歌山(直)	宝乘院	高井	高井	高井	高井	高井	土井	土井	土井	土井
十月三日	島根	城光寺	高井	高井	高井	高井	高井	土井	土井	土井	土井
十月四日	備中	豊福寺	高井	高井	高井	高井	高井	土井	土井	土井	土井

十月十四日	愛媛	密乗院	近藤	山澤	新井	川口	谷口	丸塚	森永	香月	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	
十月十五日	山口	繁如院	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
十月十六日	大阪	金剛寺	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
十月十七日	北海道	大心寺	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
十月十八日	山口	小南寺	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
十月二十日	尾張	覺城寺	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
十月二十七日	北海道	大心寺	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
十月二十八日	広島	永明寺	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
十月三十一日	新潟	教学院	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉
九月十四日	大分	明王寺	表	長井	山本	谷本	大原	川野	高瀬	高瀬	萩原	萩原	村上	村上	高橋	高橋	矢島	松浦	水嶋	水嶋	大倉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉	大杉

九月十五日	香川	法輪寺	住谷	坂口	岡崎	岡崎	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本
九月十八日	大分	明王寺	住谷	坂口	岡崎	岡崎	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本
九月二十六日	島根	松林寺	住谷	坂口	岡崎	岡崎	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本
十月二日	島根	松林寺	住谷	坂口	岡崎	岡崎	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本
十月三日	島根	城光寺	住谷	坂口	岡崎	岡崎	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本
十月四日	新潟	豊福寺	住谷	坂口	岡崎	岡崎	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本	藤本

十月十三日 島根 金剛峯寺 多々納正夫 原田 稔

十月十四日 三重 泉福寺 稲垣 義一 密乗院 塩出 隆修

愛媛 近藤 茂 友澤 敏子 須山 定保

愛媛 観音院 近藤 隆哉

福岡 大師寺 田中 裕子 長谷奈津美

肥前 蓮乗院 榎木園飛鳥 森永 浩通

十月十五日 山口 繁如院 森永 博昭 王井 義信

十月十八日 山口 小南寺 栗原 弘子 宮崎 義也

十月二十日 尾張 覺城寺 高瀬 憲良 加藤 ヨシエ

十月二十六日 京都 松尾寺 森脇 直樹 金剛山轉法輪寺

十月二十七日 北海道 大心寺 瀬部 勲 加藤 ヨシエ

十月二十八日 広島 永明寺 楠 俊男 高坂 俊幸

十月二十九日 福岡 福寶寺 中原伸一郎 錦織 訓司

▼承認・証明 宗教法人寺院解散の件

▼死亡 九月二日 大阪(直) 権中僧正 (非)慈弘院教会主管

十月二十七日 長崎 度 牒 喜々津峯顕

末寺・教会・醍醐寺だより

令和四年度第六十回密教学芸賞

令和四年十月十一日(火) 兵庫 大本山須磨寺 受賞者 総本山醍醐寺推薦

東北大学名誉教授・東京芸術大学客員教授 醍醐寺文化財研究所員 有賀祥隆先生

醍醐山華道学会三宝山御流「華道展示会」

令和四年十月三十日(日) 三宝山 醍醐寺霊宝館秋期特別展

「鶴田一郎『ミューズ達の折り』」

令和四年十月十五日(土) 十二月四日(日) 霊宝館

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法人法』第二十五条第四項)。

この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。

宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。

文化庁主催による「令和四年度・宗教法人実務研修会」が、各地区で開催されています。詳細は、真言宗醍醐派ホームページをご覧ください。お申し込みは、開催県へお問い合わせください。

財務部より

宗費賦課金をご納入いただきまして、誠に有り難うございます。まだご納入されていない方は、なるべくお早めにご納入いただきますようお願い申し上げます。

※納入期限は令和五年三月三十一日(金)となります。僧階昇補などの各種申請や手続きの際には、宗費賦課金の未納金がございますと手続きすることができませんので、事前にご確認ください。

各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお願いいたします。

教学部より

第三十七回人權啓発研究会

主催：第三十七回人權啓発研究会実行委員会 日程：令和五年一月十九日(木) 二十日(金) 十九日(木) 午後一時～午後四時四十五分

二十日(金) 午前九時三十分～午後二時三十分

会場：レイボックホール(市民会館おみや) さいたま市民文化センター

参加費：七千円

申込方法：参加ご希望の方は十二月十四日(水)までに、宗務本庁までご連絡ください。

醍醐寺からのお知らせ

第四十三回世界遺産劇場 醍醐寺

密教と文化―自然と文化の協奏 令和四年十二月十七日(土)・十八日(日)・二十一日(水) 霊宝館

初祈祷授戒会

令和五年一月五日(木) 午前十時 伽藍 柴燈護摩道場・金堂

初聖宝会

令和五年一月六日(金) 午前十一時 上醍醐 開山堂・伽藍 祖師堂

後七日御修法

令和五年一月八日(日) 同年一月十四日(土) 京都 総本山教王護国寺 出仕 三重 大宝院住職 権大僧正 岩鶴密雄師 伝法灌頂

令和五年二月七日(火) 開壇

末寺徒弟の伝法灌頂入壇の お問い合わせ、お申し込みは醍醐寺まで。

「お詫びと訂正」

「神慶別冊 宗派だより」十一月号表紙「太元帥大法」 承仕名に丸塚龍玄師の御名前の記載が漏れておりました。また、「録事」の二頁中段、▼総代委嘱の記事の中で「九月九日 大分 吉祥寺 内田一彦、葛原清一、生野順昭」は、「九月九日 大分 吉祥寺 内田一彦、河野里乃、河野洋一郎」の誤りでした。ここに謹んでお詫びし、訂正いたします。

大住法衣店

〒604-18274
京都市中京区小川通三条上ル西堂町
TEL (075) 221-3087
FAX (075) 221-3038
E-mail: oosumihoi@gmail.com

山城屋文政堂

藤井佐兵衛

〒600-18029
京都市下京区寺町通五条上ル
TEL (075) 351-9363
FAX (075) 343-5500
http://yamasa-bunseido.com

杉本権七法衣店

〒600-18304
京都市下京区新町通六条下ル
TEL (075) 351-2890
FAX (075) 341-6774

和光印刷株式会社

〒602-10012
京都市上京区烏丸通上御霊前上ル
TEL (075) 441-5408
FAX (075) 441-4982
E-mail: info@wako-print.co.jp

田中伊雅佛具店

〒600-18453
京都市下京区万寿寺西洞院東入ル
TEL (075) 351-2584
FAX (075) 341-8822
http://www.tanakaiga.com

井筒法衣店

〒600-18468
京都市下京区堀川通新花屋町角
(西本願寺前)
TEL (075) 365-1000
FAX (075) 353-7021
メールアドレス 0120-1075-1730

林勘法衣店

〒602-10874
京都市上京区河原町丸太町
西筋下ル東土御門町345
TEL (075) 231-2244
FAX (075) 255-6632
E-mail: hayashikan@beachocn.ne.jp

大峯山陀羅尼助丸

花谷神変堂

〒638-10431
奈良県吉野郡天川村洞川235
TEL (0747) 64-10047
FAX (0747) 64-10070

毎月二十九日
国宝・五重大塔御開扉納経法要

・午前十時三十分～ ・午後一時三十分～
●当日、清瀧宮拝殿にて写経された方は、五重大塔御開扉法要中(約一時間)に、写経を奉納できます。
●「高王十句観音経」写経奉納料 千円
※なお、別途醍醐寺拝観料が必要です。

上田法衣佛具店

〒604-10913
京都市中京区河原町二条西入上ル
TEL (075) 221-3348
FAX (075) 211-1858

今井半念珠店

〒605-10934
京都市東山区大黒町通正面南入
TEL (075) 561-0307
FAX (075) 525-2557

松栄堂

〒604-10857
京都市中京区烏丸通二条上ル東側
TEL (075) 212-15590
https://www.shoyeido.co.jp

醍醐寺売店 今月のおすすめ品

【醍醐寺オリジナル センティッドキャンドル】



内容量／180g
燃焼時間／約40時間
箱サイズ／90×90×100mm
販売価格／5,000円(税込)

国産植物性原料使用で煤や煙が出にくいキャンドルです。
サクラの香りを確かな品質を誇る美濃焼の器に収めました。



お問い合わせ先 三寶院売店
TEL/FAX 075-571-0112

https://daigoji-ugetsu.raku-uru.jp

京おせち

ご予約承り中

二段

¥21,600 (税込・送料込)

12/19

12/31

除災招福
病魔退散ご祈禱済
総本山 醍醐寺
五大力尊御守2体付

総本山 醍醐寺 御用達
醍醐料理 雨月茶屋 075-571-1321